

これからの デジタル・フォレンジックの 課題と展望～技術の立場から～

立命館大学 情報理工学部 上原哲太郎

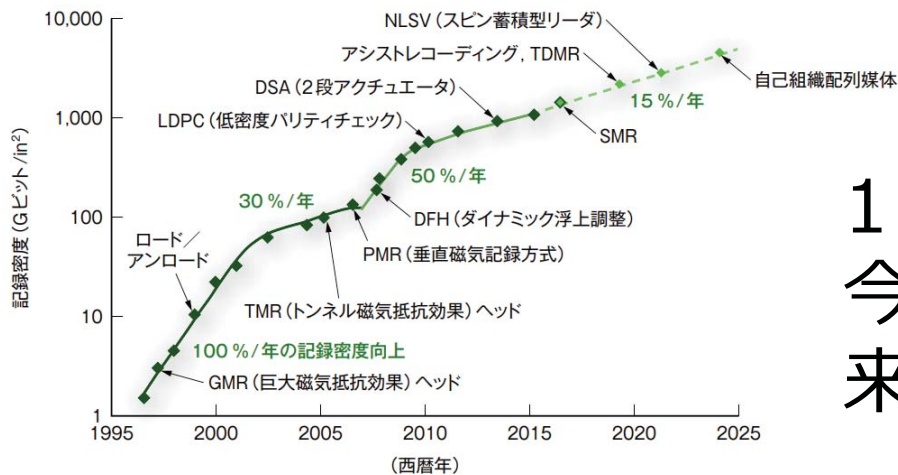
1

R 技術としての認知

- 標的型攻撃の増加に伴う
CSIRTブームにより
インシデント・レスポンスの重要性は
認知が広がる
- 一方で証拠保全の重要性はまだ
→証拠保全ガイドラインの展開が
まだまだ必要に

R 今後の展望 (1)

- ハードディスクの大容量化は年率15%
今後フォレンジックに必要な時間が課題



1ドライブ
今年16TB
来年20TB

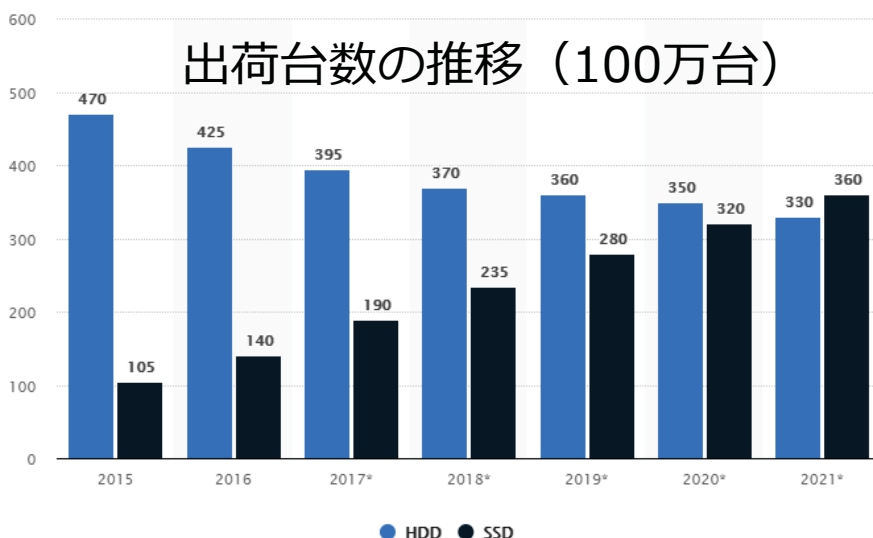
東芝レビューVol.70No.8 (2015) より

Beyond Borders

3

R 今後の展望 (2)

- SSDへの置換が進む



SSDは
削除ファイルが
復活困難

<https://www.statista.com/statistics/285474/hdds-and-ssds-in-pcs-global-shipments-2012-2017/>

Beyond Borders

4

R 今後開発すべきフォレンジック

RITSUMEIKAN

- 消えやすくなる情報
- メモリフォレンジック・ライブフォレンジック
ファストフォレンジック
- クラウドへの対策
- 強化される個人認証
 - 二要素認証 生体認証
- 暗号化や匿名化技術の進展への対処
- 改ざんされやすくなるメディア
 - 静止画・動画・音声データ